

「職場のメンタルヘルス対策講座(2)」

－配慮の必要な場面での職場内面談」

医療従事者が生き生きと安心して働けるためには、仕事の工夫やワークライフバランスも重要ですが、看護職の同僚、患者、医師を含めた専門職者、などとの円滑な人間関係も重要です。

2013 年に日本看護協会が実施した調査では、山形県内の看護職者の離職率は 7.2%、新卒者では 4.6% であり¹⁾、全国平均よりは低いものの継続的な取り組みが必要です。

また、昨年 12 月から 50 人以上の職員がいる職場では健康診断などに併せて従業員のストレスチェックを行うことが義務化されています。ストレスチェックの結果は部署ごと等での分析が可能なため、部署内での職員対応がカギになります。

この研修では、職員のメンタルヘルスの保持増進をするためのポイントを、職場内での合理的配慮や職場内面談、チーム形成に焦点を当て、部署ごとの組織活性化を図る講習会とします。

1) 日本看護協会「2013 年病院における看護職員需給状況調査」

開催予定

日時:平成 29 年 3 月 4 日(土) 13:00 – 15:00 (入場開始 12:30-)

場所:山形県立保健医療大学 2 階 第 3 講義室 (予定)

講師:看護学科 准教授 安保寛明 「人材育成と快適職場づくり、メンタルヘルスの観点から」

話題提供:社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

社会復帰支援室長 藤原隆之 (精神保健福祉士)

「職場内面談の経験と業務調整の工夫」

このほか、運営者として看護学科の教員複数名が加わる可能性があります

対象:山形県内に従事する看護職者および医療従事者

(教育担当者、管理職者、プリセプター等、職場内面談を行う可能性が高い者の受講が望ましい)

定員:40 名 申込方法:医療機関ごとに FAX または電子メールにて (締切:3 月 1 日(水)を予定)

内容:・職場のストレスチェックの活かし方

- ・職場内定期面談の活かし方(人事評価、クリニカルラダー、目標管理シートなどとの関連)
- ・メンタルヘルス関連不調者への支援－合理的配慮と面談のコツ
- ・普段の職場環境づくりのポイント－集合型対応と個別対応の使い分け

問い合わせ: 看護学科 安保 (FAX:023-686-6674, [電子メール hambo@yachts.ac.jp](mailto:hambo@yachts.ac.jp))